



2023.09 日本薬剤疫学会

毎年9月頃から年末にかけて日本薬剤疫学会（JSPE）の年会費の納入を会員にお願いしていますが、これにあわせて2010年から「日本薬剤疫学会（JSPE）を通じた国際薬剤疫学会（ISPE）会員登録」についてもご案内させていただいています。

A. 日本薬剤疫学会（JSPE）を通じた国際薬剤疫学会（ISPE）会員登録のメリット

A1. 年会費の減額：ISPE 年会費 \$275→\$225 に減額

A2. 国際薬剤疫学会学術集会（ICPE）などの登録料の減額の可能性：

ICPEなどISPEが主催する学術集会の登録料の減額はそれぞれの運営委員会に委ねられており不確定ですが、2023年の第39回ICPE（ハリファックス）では以下のような減額措置がとられました。現地参加（in-person）ではICPEの登録料に含まれる年会費を差し引いても、JSPE会員（年会費は別途支払い）には登録料が相当程度減額されました。



In-person registration

JSPE 会員	JSPE 以外の <u>Academia</u> *	差額	275→225USD の 50USD の減額に加え
7/16 まで 985USD	1320USD	335USD	110USD 減額
8/6 まで 1050USD	1585USD	535USD	310USD 減額
8/7 以後 1200USD	1850USD	650USD	425USD 減額
JSPE 会員	JSPE 以外の <u>Industry</u>	差額	275→225USD の 50USD の減額に加え
7/16 まで 985USD	1485USD	500USD	275USD 減額
8/6 まで 1050USD	16150USD	565USD	340USD 減額
8/7 以後 1200USD	18800USD	680USD	455USD 減額

*Academia: Academia/Government

B. 国際薬剤疫学会（ISPE）会員のメリット

B1. Web を介した各種教育的資料の利用：（ISPE の HP に会員としてログインし、“Resources”の Education Center→ページ下の “Yes, I accept these terms”にチェックをいれて“submit”）（一部は非会員にも公開されていますが、会員は以下の全てを利用可能）。

次ページに続く

①ICPE の前日に行われる preconference courses、ICPE の全体セッション、シンポジウム、2023.09.16 現在、2017 年第 33 回 ICPE (モントリオール) から 2022 年第 38 回 ICPE (コペンハーゲン) までの 6 年分。第 38 回については、86 本のビデオを掲示。第 39 回ハリファックスについても近く掲示されると思われる②mid-year meeting の重要なセッション、③ACPE (アジア会議) の重要なセッション、④ISPE 主催の Webinar の記録 (ビデオ) ⑤COVID-19 の関連に特化した Webinar などをご利用になれます。

B2. ISPE の会誌 Pharmacoepidemiology and Drug Safety (PDS) に掲載された全ての論文のダウンロードが可能です。

B3. 他の ISPE 会員の連絡先を知るための "Member Directory" をご利用になれます。

年度に関する留意点

多くの ISPE 会員は、通常 8 月末に開かれる年会 (ICPE) に参加する際に翌年 1 月 1 日から 12 月 31 日の (ICPE 登録費に含まれる) 年会費を支払います。日本薬剤疫学会の年会費とともに希望者に 9 月から 12 月にかけてお支払いいただく、減額された ISPE の年会費も翌年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの年会費です。A2 の ICPE の登録料の減額は、その ICPE が開催されている期間を含む ISPE 年会費を、日本薬剤疫学会を通じてお支払いいただいた方に適応されます。たとえば、今回 2023 年 9-12 月に日本薬剤疫学会を通じてお支払いいただいた方に対する ICPE 登録料減額措置がとられるのは 2024 年 8 月 24-28 日にドイツBerlin で開かれる第 40 回 ICPE に参加する場合です。